

東京急行電鉄 デハ200形 形式図

1955年に東急車輛で誕生した画期的な路面電車

卵形の断面をした軽量車体、中間に1軸台車を使った連接式の採用など極めて

大きな特徴をもち、主抵抗器は第2位車の2重屋根根内に6箇所に分けて収容されている

6本製造され、台車はTS302とTS501(中間)、塗色は窓まわりが草色、腰まわりが薄い

クリームの塗り分けである

